



2021年～2022年度 国際ロータリーのテーマ

**奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために**

2021～22年度 国際ロータリー会長

シェカール・メータ 氏

Shekhar Mehta

第一話 ごあいさつ

鶴田新会長、新たなスタートまことにおめでとうございます。土浦RC会員の皆様、本日も御出席お疲れ様でございます。先日中島幹事より「卓話が面白かったので、ここに『ウイスキー』について書いてくれ」と依頼を受けました出席委員長の藤澤でございます。実は私、自宅では飲まず、麦茶や牛乳などを飲んでいるようなバカ舌の持ち主ではありますが、こんな世の中でも週に一度程度「外」で飲む事を欠かさぬように行っております。バカ舌のため少し変わった側面からの紹介となり、大変にお恥ずかしい一年になるのではと恐れておるのですが何卒よろしく願い申し上げます。

2021～2022年度(第64期 鶴田年度)

7月第1例会プログラム

7月1日(第3057回) VOL.1

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
- 来賓紹介
- ビジター紹介
- 会長・幹事就任挨拶
- 幹事報告・委員会報告
- 米山記念奨学生 奨学金授与
- 誕生祝・入会記念祝・結婚記念祝
- 「ロータリーの友」紹介
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- クラブソング

- 会 長
- 奉仕の理想
- 会 長
- 親睦活動委員会
- 会 長
- 親睦活動委員会
- 公共イメージ委員会
- S.A.A
- 出席委員会
- 会 長
- ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番

創 立 1958年2月14日(昭和33年)

承 認 1958年3月 7日(昭和33年)

事務局:土浦市中央2-16-9(常陽銀行4F) TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場:L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社

会長 鶴田 一郎 幹事 中島 賢一

第63期事業報告

磯 充 ロータリー情報委員長

1. 新入会員6名(吉田明浩、田邊卓士、大塚芳行、古徳尚子、高田真光、中山雅彦)に対しオリエンテーションを行い、ロータリー情報を伝え、会員としての責務及び奉仕活動に関する情報を提供し、ロータリーの精神を理解していただくことに努めました



委員長総括

本年度RI テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」、地区スローガン「ロータリアンのイノベーション・磨こう人間力」をクラブ会員に周知し、この方針のもと当委員会の活動を行うこととしていましたが、新入会員のオリエンテーション以外は、コロナ禍の状況にあり感染防止の観点から集合しての会合等、特に飲食は避けなければならない状況にありましたので、計画していた入会3年未満の会員を対象にロータリーへの理解を深めるためのスター委員会(2 回程度/年)を実施することができませんでした。

白田 恭士 親睦活動委員長

事業計画に対する実績

茨城県の緊急事態宣言実施期間内は例会が休止になった時期もありましたが、例会の出迎えや毎月の誕生日祝、結婚記念祝、入会記念祝につきましては、例年どおり実施することができました。毎月の第1週に出席できなかった該当会員に対し、出席した際に記念品をお渡しすることで、ほとんどの会員にお渡しすることが出来ました。



観桜会や新入会員歓迎会などの夜の親睦活動につきましては、飲食店への時短要請や社会情勢を鑑みると実施することができませんでした。

地区、分区行事につきましては、出席人数を抑制した行事になったことにより、会員へ参加の要請は行いませんでした。

新型コロナウイルスの影響により、従来の親睦活動を実施することができない中、どのようにすれば会員同士の親睦を深められるか手探りの中の1年でした。年度当初はオンラインによる懇親会ができないものか検討しましたが、会議やスクール形式の研修等には向いているものの、大人数の懇親会にはオンラインは向いていない現状から実施するまでにはいたりませんでした。

しかしワクチン接種が進んでいる欧米諸外国を見ると、少しずつコロナ前のような状況に戻ってきており、今後日本でもワクチン接種が進めば、従来のような懇親会等も開催できる可能性が高くなると思います。次年度でそのような状況になるかはまだ不透明ですが、以前のような状況に戻るよう切に願っております。

職業奉仕委員会 関本幹事代読

事業計画に対する実績

いわゆるコロナ禍の影響を受けた1年であった。従前からの継承活動である土浦健康まつりは中止となり、職場訪問の機会も設けることができなかった。職業奉仕月間である1月21日に、職業奉仕委員長が自らの職業に関する卓話を行った。



委員長総括

ロータリーにおける職業奉仕の理念の理解を深めるための活動を行いたい。そのために、魅力ある企画を立てて多くの会員に参加してもらいたいという希望があったが、いわゆるコロナ禍の影響によりなかなかこれらを実現できなかった。

小倉 史義 社会奉仕委員長

事業計画に対する実績

○助成金の寄贈

児童養護施設「茨城県道心園」へ助成金50,000円を贈りました。

○ロータリー財団地区補助金の運用

同補助金を活用し、土浦市立博物館と上高津貝塚ふるさと歴史の広場考古資料館に電子案内板各一機を寄贈致しました。クラブ内プロジェクト担当委員会として、ロータリー財団委員会と連携しての活動でした。

○ポリオ撲滅募金活動

土浦市立博物館のご厚意により博物館前において11月3日ポリオ撲滅募金活動を行い、収益金36,192円/ 348ドル(同月ロータリーレート104円換算)を公益財団法人ロータリー日本財団に土浦RC/クラブ寄付として送金しました。

※当初予定しておりました、「かすみがうらマラソンウォーキング



部門支援「霞ヶ浦総合公園清掃」「市内クリーン活動」等については、新型コロナウイルスによるイベント中止や内外情勢等により実施に至りませんでした。

委員長総括

コロナ禍により社会は大きな変動を余儀なくされていますが、地域での「ロータリーの役割」が改めて認識された思いも致します。次年度において社会奉仕委員会が更なる活動に繋がっていきますように祈念しております。

青少年奉仕委員会 関本幹事代読

事業計画に対する実績

- 1) 新たに4名の会員で再始動したが、1名転居のため現在3名所属、コロナ禍で思うような活動はできなかった 例会2回開催
- 2) ライラ研修会への参加(リモート)
- 3) 県立医療大学・つくば国際大学へアクトについての情報提供と勧誘を行った。コロナ禍で大学も外部からの来客を制限しており、積極的な勧誘はできていない。県立医療大学学長による卓話



委員長総括

地域の継続的發展を考えると、青少年奉仕活動には次世代を担う地域の若いリーダーを育てるという重要な役割があると考えた一年でした。ローターアクトの組織を活性化し土浦RCと共に活動したいと考えていましたが、コロナ禍で思うような活動ができず残念でした。何とか残った組織が発展することを次年度に託したいと思います。会長・幹事・前年度委員長のご指導を頂きながら活動させて頂きました。委員の皆様、会員の皆様の多大なご協力に感謝申し上げます。

藤澤 昭彦 国際奉仕委員長

1. 台北現地での新型コロナ感染拡大に伴い、「訪問」をしての交流事業はできておりません。
2. 地区の「この指とまれ事業」に対する支援を行うべく理事会にお諮りし二つの事業に支援する決議を頂きました。
3. 国際奉仕HPの立ち上げはできておりません。日本政府のワクチン送付に伴い、グループライン上は台北からの感謝の声が多くみられました。



委員長総括

台北陽明RCを訪問することを楽しみにいたしておりましたが、残念ながらコロナ騒動の終息を迎えられず、目立った事業を行うこともなく一年を終えることとなりました。ラインを利用しコミュニケーションを図るべく考えてはいたものの、日本語と中国語の壁も予想以上に高く、思っていたほどの活用には至っておりません。しかしながら最終月である6月に日本政府がワクチンを台湾へと送ると「謝辞日本!」「日本ありがとう」といったメッセージがあがり、最後の最後に良い友好ムードが出来上がったように感じております。委員長として何もできず、会員の皆様には申し訳ないの一言ですが、日本政府の行動により、次年度は良いムードで迎えられることと思います。

河合 隆 ロータリー財団委員長

- 1) 1月ロータリー財団月間での例会を担当した。
※11月19日地区より平島隆之会員(土浦RC会員)が講師として派遣された。
- 2) 財団月間には、例会場入り口に、寄付金コーナーを設置し、全クラブ会員に直接声掛けをした。
※本年は、11月12日、19日、26日の例会に財団寄付を募った。
本年度、寄付総額10,398ドル。日本円1,082,172円。
ベネファクター(恒久基金寄付1,000ドル)を1名達成した。
- 3) 地区補助金申請の支援協力。
※社会奉仕委員会の事業に使用するため申請をしたところ、本年度14万円の補助金を頂戴した。
- 4) ポリオ撲滅のために募金・PR活動を支援する。
※11月3日、社会奉仕委員会の財団補助金を受けた電子案内板贈呈式に合わせて土浦市博物館にて、一般市民に対しポリオのPR及び寄付金の募金活動を行った。
その寄付金348ドルを財団へ組み入れた。



| 飯山年度財団寄付実績 | | | | | |
|------------|-----------------------|----|-------|-------|--------|
| 種別 | 寄付者 | 人数 | ドル | 小計 | 合計 |
| 年次寄付 | 会員 @ 130ドル | 27 | 3,510 | 5,720 | |
| | 会員 @ 170ドル | 13 | 2,210 | | |
| | ポール・ハリス・ソサエティ坂本史郎様 | | 1,000 | 1,000 | |
| | クラブ寄付 | 1 | 1,000 | 1,000 | |
| | 小計 | | | 7,720 | |
| ポリオ寄付 | 会員 @ 30ドル | 41 | 1,230 | 1,330 | |
| | 会員 @ 100ドル | 1 | 100 | | |
| | クラブ寄付(11/3ポリオ撲滅募金収益金) | | 348 | 348 | |
| | 小計 | | | 1,678 | |
| 恒久基金 | ベネファクター飯山孝之様 | | 1,000 | 1,000 | |
| | 小計 | | | 1,000 | |
| 寄付総額(合計) | | | | | 10,398 |

吉田 明浩 会計 事業計画に対する実績

1. 予算執行を適正に行い、クラブ運営に貢献した。
2. 四半期毎に収支実績を作成し、予算執行状況を理事会に報告した。
3. 承認された予算に基づき、運営資金・奉仕活動資金の執行について効率的且つ厳正に管理した。

米山記念奨学委員会 關本幹事代読 事業計画に対する実績

10月の米山月間に、米山奨学生ゴン・インテインさんに卓話をしていただき米山事業の理解を深めた。

寄付金の状況 令和2年1月1日～令和3年1月13日

* 個人特別寄付 37名×30,000 = 1,110,000
3名×100,000 = 300,000

* 法人特別寄付 8社×30,000 = 240,000

* 普通寄付(上期@2,500×55名) = 137,500
(下期@2,500×55名) = 137,500

* クラブ寄付 300,000

寄付合計 2,225,000円 目標額 2,380,000円

委員長総括

新型コロナウイルスによる例会開催が予定変更されるなか、会員の皆様には多大なご協力をいただきました。



幹事報告 第63期持ち回り理事会12(23)報告 關本 淳一幹事

審議事項

1. 退会会員承認の件

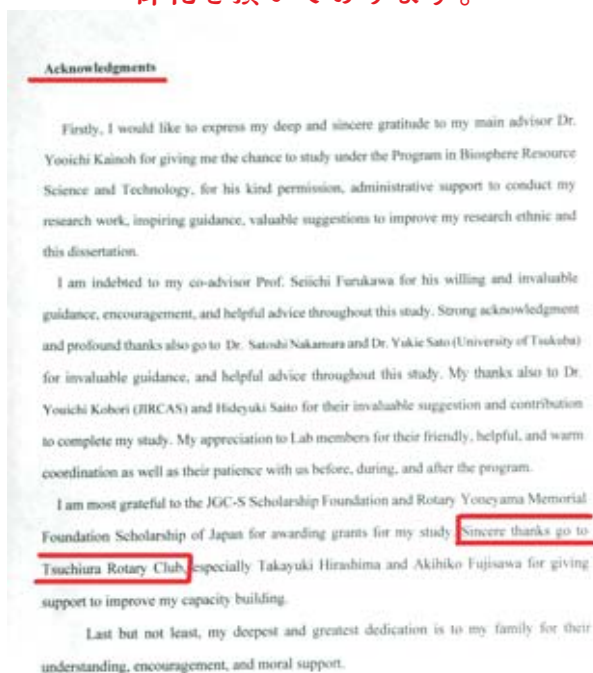
高木博昭会員から、6月末日付で退会届が提出され、退会が可決承認された。

お客様

土浦市立博物館副館長 木塚 久仁子様
上高津貝塚ふるさと歴史の広場 副館長 黒澤 春彦様
2018・20年米山記念奨学生エーエーティエンさん



2018-20 米山記念奨学生のエーさん、
博士号取得おめでとうございます。
博士論文、論文謝辞の章で
土浦ロータリークラブへの
御礼を頂いております。



小倉 史義 会員 小野 信直 会員 退会挨拶



事務局 前野さん お疲れ様でした

2021-22年度 題64期 会長・幹事 就任挨拶

2021-22年度 土浦ロータリークラブ第64期 会長 鶴田 一郎

創立64年の歴史と伝統のある第64期土浦ロータリークラブ会長を仰せつかる事になりました鶴田一郎です。第64期が始まる第1日目に第1例会が開催され、就任あいさつが出来ることは大変光栄で意義ある事と感じております。1年間の最初の日から最後の日まで会長職を全うする様にとのみなさまからのメッセージと受け止めています。2021-2022年度RIシェカール・メータ会長は私たちのテーマを「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」としました。そして2021-2022年度RI2820地区新井和雄ガバナーのスローガンは(地球の未来を想い 地域社会に貢献しましょう)となりました。そして土浦ロータリークラブ第64期スローガンは「ありがとうロータリー 楽しもうロータリー」です。RI会長テーマ・地区ガバナースローガンを基礎に、土浦ロータリークラブ第64期スローガン「ありがとうロータリー 楽しもうロータリー」を会員の皆様が感じられる運営を目指して行っています。まだまだコロナウィルスの影響がある中で、希望するクラブ活動に制約が出る事もあると思います。会員の皆様の御協力を戴きながら「ありがとうロータリー」と「楽しもうロータリー」で感染対策をしっかりと行い会員の皆様とロータリー活動を行いますので、中島幹事と7月から1年間宜しくお願い致します。



2021-22年度 土浦ロータリークラブ第64期 幹事 中島 賢一

本年度の土浦ロータリークラブの幹事を拝命いたしました中島です。いよいよ第64期 鶴田年度がスタートしました。私は、鶴田会長のクラブ方針『ありがとうロータリー、楽しもうロータリー』を聞いた時、いつも笑顔でフランクな鶴田会長にぴったりなクラブ方針だと思いました。鶴田会長の人柄をそのまま表しているなと感じました。皆さんはいかがでしょう。このクラブ方針は暖かく、緩やかなイメージが先行しますが、実践するには、規律正しく、厳正、厳粛なクラブ運営があってこそ実現できるものだと考えています。『ありがとうロータリー、楽しもうロータリー』の言葉は、今年だけでなく、ロータリアンにとってずっと心に留めておきたい言葉です。本年度は、コロナ禍からの復活の年度になると考えています。新型コロナウイルスの感染に十分配慮しながら、土浦ロータリーの活動を平常年に戻していく、本当の意味でコロナと戦っていく年度になると考えを引き締めております。今回、鶴田会長は、ロータリー歴の浅い会員、比較的年齢の若い会員にも積極的にロータリーを楽しんでもらいたいとの思いから各委員会委員長を選任いたしました。ロータリーの役職は基本的に単年度です。自分の思いを、自分ができることを精一杯、積極的に活動しましょう。わからないことがあれば遠慮なく先輩方に聞いてみましょう、各委員会の中には経験豊富で強力な先輩方が配置され、若い委員長を助けてくれるそのような委員会構成になっています。私自身、7月スタートに向けての数ヶ月間、ロータリーのこと、クラブ運営のこと、初めて経験することが多く、大変勉強になっています。今年一年、空回りすることもあると思います。暖かい目で見守って下さい。終わってみればあつという間だった、良い経験だったと思えるようがんばります。今期一年、各委員長さん達や新事務局村崎さんと共に、鶴田会長を精一杯支え素晴らしい年度にしていきたいと決意いたします。皆様、何卒よろしく申し上げます。



にここBOX

6/24 計176,000円 累計2,500,000円

次期事務局員紹介



村崎 小百合さん
1984年3月29日生
阿見町在住
家族構成：夫・娘3人・息子2人
趣味：ミシン
どうぞよろしくお願ひします。

退会会員



高木 博昭 君
(株)高木デザイン事務所 社長
平成14年10月17日 入会
令和3年6月30日 退会
MP・MC (B)・Yマルチプル

出席報告

| 会員 | 欠席 | 出席 | 免除・欠席 | 出席率 |
|-----|-----|-----|-------|-------|
| 59名 | 22名 | 37名 | 4名 | 67.27 |

例会予告

7月8日 クラブ協議会(1)
理事・委員長事業方針発表
15日 理事・委員長事業方針発表

第64期第1回目の会費(80,000円)の
納入をお願いします。
口座振替は7月8日の予定です。
口座残高のご確認をお願い致します。

メイクアップ

6/23 スクラッチ会 磯、白田、円城寺、大塚、大場、
河合、菊池、佐藤(昭)、鈴木(亮)、關本、高田、田邊、
中島(賢)、橋本、平島、廣瀬(正)、福田、藤澤、藤田、
吉田



『スクラッチ会』

6月23日(水) 金乃台カントリークラブ



廣瀬 正
一度優勝してみたかったので、満
足しました！

福田 雅典
初めての参加でしたが、大変有意義な時間と楽しくプ
レーをさせて頂きました。これまで関わりが少なかった
会員の皆様と、親睦交流を十分深められた機会では
したので、次回も是非参加させて頂きます。この度は、
ありがとうございました。